

令和6（2024）年度

岡山県立大学大学院

保健福祉学研究科

（博士後期課程）

学 生 募 集 要 項



岡山県立大学大学院保健福祉学研究科には、博士前期課程(修士課程)及び博士後期課程(博士課程)が設置されています。本冊子は博士後期課程の学生募集要項及び案内です。

本研究科の博士後期課程保健福祉科学専攻は、博士前期課程の看護学専攻、栄養学専攻及び保健福祉学専攻との密接な連携関係を保つ3つの大講座から組織されています。本専攻においては、保健福祉学分野における高度な専門知識を持つ教育・研究者の育成を目標とする教育・研究が進められています。

出願に際しては、各大講座の内容を熟読の上、所定の期日までに書類を提出してください。

入学者選抜日程等の概要

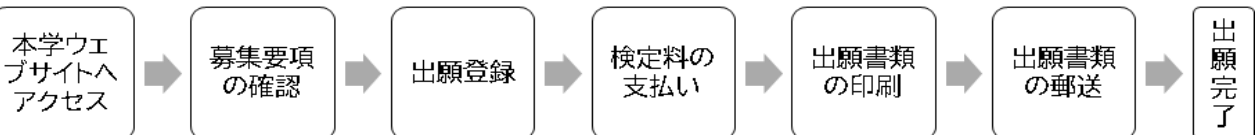
事項	日程・試験会場等
障害等のある入学志願者の事前相談	令和5年9月8日(金)まで
出願資格の審査書類の提出	令和5年9月15日(金)まで [2頁の出願資格(4)又は(6)に該当する者]
指導希望教員との面談	令和5年9月15日(金)まで
出願期間	令和5年9月25日(月)～令和5年9月29日(金)
試験日：会場	令和5年10月19日(木)：岡山県立大学
合格者発表	令和5年11月1日(水)
入学手続	令和5年11月9日(木)～令和5年11月13日(月)

〈出願方法(インターネット出願)〉

岡山県立大学では、志願者の利便性向上及び入試業務の効率化を図るため、パソコン・タブレット・スマートフォン等を利用したインターネット出願を導入しています。

インターネット出願を利用することにより、出願期間中は24時間いつでも出願登録ができます。

なお、卒業証明書等、出願期間中に郵送が必要な書類があるので、ご注意ください。



目 次

I 岡山県立大学大学院保健福祉学研究科の入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)	1
II 岡山県立大学大学院保健福祉学研究科(博士後期課程)学生募集要項	
1 募集人員	2
2 出願資格	2
3 出願手続	2
4 試験日等	6
5 合格者発表	8
6 入学手続	8
7 初年度納付金	9
8 学位記に付記される分野の名称	10
9 社会人の履修について	10
10 安全保障輸出管理について	10
11 奨学金及び授業料の減免等について	11
12 個人情報について	11
III 岡山県立大学大学院保健福祉学研究科(博士後期課程)案内	12
IV 試験会場の配置図と案内図	17

〈重要なお知らせ〉

新型コロナウイルス感染症の影響により、入試日程や実施方法が変更される可能性があります。出願の際にはウェブサイトに掲載する最新の情報をご確認ください。

I 岡山県立大学大学院保健福祉学研究科の入学者受入れの方針

(アドミッション・ポリシー)

保健福祉学研究科の入学者受入れの方針

保健福祉学研究科は、保健・医療・福祉分野の専門職としての深い知識と卓越した能力を身に付け、各分野の課題を提起し、それを解決し得る研究能力を持つとともに、広く健康社会の発展に貢献できる研究者あるいは高度専門職業人を育成します。

このため各専攻ではアドミッション・ポリシーに示す入試を実施し、広く国内外からの学生を選抜しています。

保健福祉科学専攻（博士後期課程）の入学者受入れの方針

保健福祉科学専攻（博士後期課程）は、人間が抱える諸問題に関して、生命や栄養、看護、福祉など各方面からアプローチし、深い倫理観と総合的な判断力をもって、問題の解決策を提案できる高度な見識を備えた各専門職領域の実践者、指導者、研究者及び教育者の育成を目指しています。

したがって、保健・医療・福祉分野の広範な知識・技能とともに深い倫理観と総合的な思考力・判断力を持ち、高度な学問的見識や英語を含む十分なコミュニケーション力を修得し、海外や地域における保健福祉問題を掘り起こして、その対策を立案する意欲のある人を求めます。

本専攻では、外国語（英語）の筆記試験と、修士論文と研究計画書に基づいて専門知識やそれに基づく思考力・判断力、意欲、人物を評価する面接試験を行います。

Ⅱ 岡山県立大学大学院保健福祉学研究科(博士後期課程)学生募集要項

1 募集人員

(人)

専攻	募集人員(社会人、外国人留学生を含む)
保健福祉科学専攻	5

(注) 1 社会人とは、出願時に医療・保健・福祉施設、教育研究機関、官公庁、企業等において専門的実務に従事しており、入学後も引き続き勤務を続ける者としてします。

2 外国人留学生とは、日本の国籍を有しない者で、かつ、出入国管理及び難民認定法(昭和26年政令第319号)に定める「留学」の在留資格を有する者又は入学手続後に「留学」の在留資格を取得できる者としてします。

2 出願資格

次のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び令和6年3月31日までに授与される見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和6年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和6年3月31日までに授与される見込みの者
- (4) 文部科学大臣の指定した者(平成元年文部省告示第118号)

大学を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

- (5) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和6年3月31日までに授与される見込みの者
- (6) 個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると学長が認めた者で、令和6年3月31日までに24歳に達するもの

※ 出願資格(4)又は(6)により出願を希望する者は、出願に先立ち出願資格の審査を行います。(3の出願手続の(9)参照)

- (7) 外国人留学生については、以下のとおりとしてします。
 - ① 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和6年3月31日までに授与される見込みの者。(研究経験及び実績を有すること。)
 - ② 独立行政法人国際交流基金と公益財団法人日本国際教育支援協会が実施する日本語能力試験N2レベル以上に相当する日本語能力を有することが望ましい。
 - ③ 留学の目的が明確であること。
 - ④ 修了後は原則として母国で研究・教育・診療などに従事すること。
 - ⑤ 看護大講座では以上に加えて、看護学における基本的な学術専門用語を日本語での説明を聞いて理解できることが望ましい。

3 出願手続

(1) 出願方法

出願は、インターネット出願(インターネットによる出願登録、検定料支払い及び出願書類の郵送)のみとしてします。本学ウェブサイトに掲載している「インターネット出願ガイド」をよく読んで出願手続きを行ってください。

インターネットによる出願登録及び検定料の支払いが完了したら、(4)の出願書類等を一括して角形2号(縦332mm×横240mm)の封筒に入れ、簡易書留速達扱いの郵送により提出してください。

ただし、出願期間最終日に限り、直接持参を認めます。なお、受付開始時刻は9時とし、受付終了時刻は17時とします。また、直接持参の場合は、持参する前日までに本学教学課入試班までご連絡ください。

なお、出願時に海外に在住する者は、本学から書類を送付するための「日本国内の連絡先」を設定してください。（日本国内の連絡先がない場合は、この限りではありません。）

(2) 出願期間

令和5年9月25日（月）から令和5年9月29日（金）まで

- (注) 1 9月30日（土）以降に到着したものは、9月28日（木）までの発信局消印のある「簡易書留速達郵便」に限り有効とします。上記の「発信局消印」とは日本国内の郵便局消印を指しますので、外国から郵送する場合は、出願期間中に本学に到着するよう所要日数を十分に考慮して発送してください。
- 2 出願書類の到着確認の問い合わせについては、本学では回答できません。配達状況は、日本郵政のウェブサイト等の郵便追跡サービスの利用又は郵便局へのお問い合わせによりご確認ください。

(3) 出願先

〒719-1197 岡山県総社市窪木1-1-1番地
岡山県立大学事務局教学課入試班

(4) 出願書類等

出願に必要な書類等	作成方法
① 志願票（原票）	インターネットでの出願登録及び検定料の支払いが完了したら、「インターネット出願ガイド」を参照のうえ案内にしたがってご自身でダウンロード・印刷し、提出してください。 「出願の承諾を得た教員名」の欄には、事前に面談を行い、出願の承諾を得た教員名を記入してください。（3の出願手続の（6）参照）
② 卒業又は修了（見込）証明書（厳封したもの）	出身大学の学長又は研究科長が発行した証明書（ 厳封 したもの）を提出してください。 ※本学大学院の修了者及び修了見込者は提出する必要はありません。
③ 成績証明書（厳封したもの） <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 5px;">学部・大学院各1通必要</div>	出身大学の学長、学部長又は研究科長が作成し、 厳封 したもの。 ※出願者は全員提出する必要があります。 ※在学中に単位取得した全ての授業科目の成績が記載されたものを提出してください。 ※出願資格(1)、(2)、(3)、(5)又は(7)により出願する者は、学部及び大学院の成績証明書を、出願資格(4)又は(6)により出願する者は学部の成績証明書を提出してください。
④ 履歴書	本学所定の様式を使用し、入学志願者本人が記入してください。 様式は、本学ウェブサイトからダウンロードしてください。 出願時に海外に在住する者は、「海外の住所」を現住所（通信先）に、設定された「日本国内の連絡先」を緊急連絡先に記入してください。 「学歴」について、外国の学校教育における16年又は15年の課程を修了した者及び修了見込みの者は、小学校入学から記入してください。
⑤ 修士論文等	ア 修士の学位を有する者は、修士論文の写し又は修士論文の要旨（2,000字程度にまとめたもの） イ 修士課程修了見込みの者及び出願資格(4)又は(6)により出願する者は、研究経過又は業務内容の報告書（2,000字程度にまとめたもの） なお、研究発表や特許等の資料があれば添付してください。

⑥ 研究計画書	保健福祉科学専攻（博士後期課程）に入学後、取り組みたい研究分野及び課題について記述してください。（様式は随意）
⑦ その他	<p>ア 官公庁、会社等に在籍したままで入学を希望する者は、出願承諾書を提出してください。様式は本学ウェブサイトからダウンロードしてください。</p> <p>イ 特別入試（外国人留学生）については、日本語能力を証明することができる書類を有している場合はその写しを提出してください。</p> <p>ウ 外国人の入学志願者は、市区町村長発行の在留資格及び在留期間を明示し「住民票の写し」を提出してください。市区町村に住民登録をしていない者は、パスポートの本人の氏名、生年月日及び性別の部分の写しを提出してください。</p>

- (注) 1 出願に必要な書類等のうち、④、⑦アの本学所定の様式は、ウェブサイトからダウンロードできます。出願書類は黒ボールペンで記入してください。書き間違えた場合は、二重線で消して正しい内容を横に書いてください。
- 2 出願に必要な書類のうち、外国語（英語を除く。）で書かれた証明書等には、その日本語訳を添付してください。
- 3 外国の大学が発行した証明書の原本の返却を希望する者は、その旨出願書類等を提出する際に申し出てください。原本を本学でコピーして返却します。

(5) 検定料

① 検定料

30,000円

② 支払方法

インターネット出願の手順に従い、所定の支払方法から検定料の支払を行ってください。支払方法は以下のとおりです。

ア コンビニエンスストア払い

イ クレジットカード決済

ウ 銀行ATM（ペイジー支払対応銀行）／ネットバンキングでの支払

※各種支払に係る手数料は、入学志願者の負担となります。

③ 納付期間

令和5年9月25日（月）から令和5年9月29日（金）

④ 検定料の返還

納付された検定料は、次のアからウまでの場合を除き返還しません。返還する場合の返還額は検定料相当額とします。検定料の返還は納付した者からの請求に基づき行いますので、該当者は当該試験日の属する月の月末までに本学教学課入試班へ連絡し、必要な手続きをとってください。イの場合は本学教学課入試班から該当者に連絡します。

ア 検定料を納付したが、出願しなかった場合

イ 検定料を納付したが、出願が受理されなかった場合

ウ 検定料を誤って二重に納付した場合

⑤ 特例措置

以下のア又はイに該当する方には検定料全額免除の特例措置があります。

検定料免除を希望される方は出願登録前に必ず本学教学課入試班へ連絡し、出願期間前に必要な書類を提出してください。

ア 東日本大震災又は平成30年7月豪雨の被災者

※詳しくは本学ウェブサイトをご覧ください。

イ 本学の大学院博士前期課程又は修士課程を修了見込みで、引き続き博士後期課程に進学しようとする者

(6) 指導希望教員との面談

保健福祉学研究科博士後期課程の具体的な研究内容を知っていただくため、下記の期日までに、指導を希望する教員へ連絡し、必ず面談を行ってください。また、指導を希望する教員に出願の

承諾を得てから出願してください。

① 面談期日

令和5年9月15日（金）

②指導可能教員

※令和6年度予定のため変更になる可能性あり

大講座名	教員名 ●が大講座責任者
看護学大講座	●森本美智子教授、荻野哲也教授、住吉和子教授、森永裕美子教授、喜多村真治教授、實金栄教授、岡崎愉加准教授、名越恵美准教授、井上幸子准教授、佐々木新介准教授
栄養学大講座	●山下広美教授、山本登志子教授、入江康至教授、伊東秀之教授、高橋吉孝教授、川上貴代教授、田中晃一教授、川上祐生准教授、池口主弥准教授
保健福祉学大講座	●高戸仁郎教授、近藤理恵教授、中村光教授、坂野純子教授、岩満賢次教授、村社卓教授、竹本与志人教授、樂木章子准教授

(7) 障害等のある入学志願者の事前相談

障害等のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、令和5年9月8日（金）までに、本学事務局教学課入試班へ連絡し、相談してください。

なお、受験上及び修学上の配慮事項についての決定通知があるまでは出願しないでください。相談の内容によっては、対応に時間を要することがあり、本学の試験までに対応できず特別な配慮が講じられないこともありますので、できるだけ早い時期に相談してください。

申請にあたっては、「岡山県立大学大学院入学志願者選抜試験の出願に関する協議書」を作成のうえ必要書類を添付し、本学教学課入試班へ郵送により提出してください。詳しくは本学ウェブサイトをご覧ください。

(8) 出願手続上の注意事項

- ① 出願期間内に出願に必要な書類を提出し、本学で不備がないことが確認されることにより出願手続き完了となります。出願に必要な書類等がそろっていない場合は受付できませんので十分確認してください。
- ② 入学を許可した後であっても、出願書類の記載と相違する事実が発見された場合は、入学を取り消すことがあります。
- ③ 出願受付後に出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合は、本学教学課入試班へ連絡してください。
- ④ 受付をした出願書類は返還しません。
- ⑤ 出願時に海外に在住する者で「日本国内の連絡先」を設定した者への書類は、当該連絡先に送付します。

(9) 出願資格の審査

2の出願資格(4)又は(6)により出願を希望する者は、出願に先立ち出願資格の審査を行いますので、次の必要書類を令和5年9月15日（金）（必着）までに本学教学課入試班へ提出してください。資格審査の結果は申請者あて通知します。

なお、書類を提出するにあたっては、事前に指導を希望する教員との面談を済ませておいてください。

必要書類	作成方法
① 出願資格認定申請書	本学所定の様式を使用し、必要事項を漏れなく記入してください。
② 卒業証明書 (厳封したもの)	最終出身校が作成し、厳封したもの
③ 成績証明書 (厳封したもの)	最終出身校が作成し、厳封したもの

④ 業績調書	本学所定の様式を使用し、専攻分野に関連する研究業績等について作成したもの
⑤ 資格免許証等	専攻分野に関連する各種免許証等、参考となると思われる書類等の写し（簡単な説明を付してください。）

- (注) 1 「本学所定の様式」は、ウェブサイトからダウンロードしてご使用ください。
 2 出願資格が認定された場合の出願書類について、②及び③の書類は省略することができます。

4 試験日等

(1) 試験日・時間割

試験日	令和5年10月19日(木)
-----	---------------

試験区分(一般・社会人・外国人留学生)	配点	時間
筆記試験 ・大講座関連専門試験 志望する大講座に関係した問題を英語で出題します。英和辞典の持ち込みを認めます。ただし、電子辞書、専門用語の英和辞典、英和・和英辞典が一冊になったもの等は持ち込めません。 なお、外国人留学生には、英和辞典以外に英和辞典に相当する母国語の辞典(英韓辞典等)の持ち込みを認めます。	100	10時00分～ 12時00分
面接試験 ・修士論文等及び研究計画書を中心に行います。	100	13時30分～

- (注) 1 受験者は、筆記試験は9時45分までに、面接は13時20分までに指定された試験室(面接に当たっては面接控室)に入室し、着席してください。試験室及び面接控室は、試験当日試験会場の掲示により指定します。
 2 試験開始後は、30分以内の遅刻に限り受験を認めます。ただし、試験時間は延長しません。
 3 試験開始後は、終了するまで試験室から退室できません。
 4 筆記試験及び面接試験のいずれか一つでも受験しない者は、入学者選抜の対象から除きます。
 5 修士論文等及び研究計画書の審査は面接試験の評価に含まれます。

(2) 選抜方法

入学者の選抜は、修士論文等及び研究計画書の審査並びに筆記試験、面接試験の結果を総合して行います。

なお、外国人留学生については、以下のとおりとします。

- ① いずれの大講座も、出願前に大講座責任者並びに指導を希望する教員との日本語での面談が必要です。
- ② 試験は日本語での筆記試験(英語)及び面接の方法で行いますが、筆記試験の問題のうち1問を、日本人の試験とは別の問題とします。
- ③ 大講座別の留意事項は以下のとおりです。
 - ア 看護学大講座
私費留学生や看護資格のない者は、出願前の事前面談を複数回行い、学習意欲などを確認することがあります。
 - イ 栄養学大講座
面接では専門口述試験(博士前期課程における論文概要の日本語でのプレゼンテーションを含む。)を行います。
 - ウ 保健福祉学大講座
学位論文等及び研究計画書の審査も行います。

(3) 試験会場

〒719-1197 岡山県総社市窪木1 1 1 番地
岡山県立大学 保健福祉学部棟

(4) 受験上の注意事項

① 試験当日の持参品について

ア 受験票について、試験の5日前までに印刷が可能になった旨のお知らせを本学ウェブサイトへ掲載するとともに、同じ内容をインターネット出願システムに登録されたメールアドレスにも送信しますので、受験票を印刷のうえ持参してください。（A4用紙、カラー、ページの拡大・縮小はしない。）

なお、メールが受信できていなくても本学ウェブサイトに上記のお知らせが掲載されていれば、受験票の印刷は可能です。また、**試験日の5日前を過ぎても**受験票印刷ボタンが表示されない場合は、本学教学課入試班へ連絡してください。

イ 受験票は、試験実施時に、指示に従って試験監督者に明示できるよう机の上に置いてください。当日に受験票を忘れた者は、速やかに試験実施本部で受験票の交付又は指示を受けてください。

受験票は入学手続の際に必要となりますので、試験後も大切に保管してください。

ウ 受験票のほかに筆記試験中に机の上に置けるものは、黒鉛筆（シャープペンシル可）、消しゴム、鉛筆キャップ、鉛筆削り（電動式を除く。）、時計（時刻表示機能のみで、秒針音のしないもの）、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）、目薬、英和辞典（英和辞典に相当する母国語の辞典を含む。）、指サックです。これ以外のものを置いている場合は、解答を一時中断させて、試験終了まで預かることがあります。

エ 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類は使用できませんので試験室（面接にあつては面接控室）に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。なお、試験時間中にかばん等の中で携帯電話等の着信音やマナーモードの振動音などが発生した場合には、監督者が本人の了解を得ずにかばん等を試験室外に持ち出し、実施本部で当該試験時間終了まで保管します。

オ 試験監督者が受験者の顔の確認を行います。「マスク」や「帽子」を着用している場合、本人確認のため、一時的に外すよう試験監督者が指示することがあります。

カ 試験室（面接にあつては面接控室）における受験者間の物品の貸借は一切認めません。

キ 面接控室では、待機中の読書（教科書やメモも可とする。ただし電子書籍を除く。）や水分補給を認めますが、待機中に本や水筒等をかばん等から取り出すときは、必ず試験監督者の許可を受けてください。

ク 必要に応じて昼食を持参してください。

ケ 試験会場における忘れ物について、試験実施日から一定の期間は本学で保管します。一定の期間を過ぎた後は廃棄しますので、あらかじめご了承ください。

② 不正行為について

ア 不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなり、全ての試験成績が無効となります。また、不正行為の内容によっては、警察に被害届を提出する場合があります。

なお、次のことをすると不正行為となります。

- ・ 志願票、受験票、解答用紙へ故意に虚偽の記入をすること。
- ・ カンニングをすること。
- ・ 他の受験者に答えを教えたり、カンニングの手助けをしたりすること。
- ・ 試験時間中に、問題冊子を試験室から持ち出すこと。
- ・ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ・ 「解答始め。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めたりすること。
- ・ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類を使用すること。
- ・ 「解答やめ。」の指示に従わず、解答を続けること。

イ 上記以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、

不正行為と認定された場合の取扱いは、上記アと同様です。

- ・ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすること。
- ・ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ・ 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
- ・ 試験会場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ・ 試験会場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- ・ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

③ その他

ア 感染症対策に係る本学の対応について、本学ウェブサイトに掲載しますので、必ず事前にご確認ください。

なお、掲載内容については今後、文部科学省等の通知により一部変更になる場合がありますので、最新の情報をご確認ください。

イ 所定の日程による試験実施が困難となるような不測の事態（自然災害等）が発生し、入学志願者への緊急連絡が必要となった場合は、本学ウェブサイトでお知らせします。

ウ その他連絡の必要が生じた場合は、インターネット出願システムに登録された連絡先に通知します。

5 合格者発表

(1) 発表日時

令和5年11月1日（水）10時

(2) 発表方法

本学のウェブサイトに合格者の受験番号および合格通知書の取得方法について掲載します。

（以下、このページを「合格発表ページ」という。）（掲示による発表はしません。）

電報、電話、郵便、電子メール等による問い合わせには応じません。

（注） 試験当日、試験会場及びその周辺で合格電報等の受付を行う者がいても、本学とは一切関係がなく、その責任を負うことはできません。

6 入学手続

(1) 入学手続方法

入学手続の詳細については、合格発表ページをご確認ください。

(4)の入学手続に要する書類等を一括し、簡易書留速達扱いの郵送により提出してください。ただし、入学手続期間最終日に限り、直接持参を認めます。なお、受付開始時刻は9時とし、受付終了時刻は17時とします。また、直接持参の場合は、持参する前日までに本学教学課入試班までご連絡ください。

(2) 入学手続期間

令和5年11月9日（木）から令和5年11月13日（月）まで（必着）

(3) 入学手続先

〒719-1197 岡山県総社市窪木111番地
岡山県立大学事務局教学課入試班

(4) 入学手続に要する書類等

入学手続に要する書類等	作成方法
① 受験票	
② 宣誓書	本学所定の様式を使用し、必要事項を記入の上、必ず押印して

	ください。
③ 住民票記載事項証明書 (証明願)	7の(1)の①の「岡山県内の者」に該当する者のみ必要です。 本学所定の様式(市区町村の様式ではありません。)を使用し、 居住地の市区町村の関係窓口へ提出して証明を受けてください。
④ 入学料	7の(1)の額の入学料を納付する必要があります。納付方法については、合格発表ページにてお知らせします。ただし、本学大学院博士前期課程又は修士課程を修了見込みで、引き続き博士後期課程に進学する者は、入学料の納付は必要ありません。
⑤ 写真1枚 (学生証作成用)	縦4cm×横3cmの写真(正面上半身無帽、背景なし、カラー)の裏面に専攻名、氏名を記入してください。
⑥ 学位授与証明書	2の出願資格(1)、(2)、(3)、(5)又は(7)に該当する者で、学位取得見込みで受験したもの(本学大学院で修士の学位を取得見込みの者は提出不要)

- (注) 1 「本学所定の様式」については、合格発表ページをご確認ください。
2 ⑥に示す学位授与証明書は、入学資格(2の出願資格(1)、(2)、(3)、(5)又は(7))の判定資料です。該当者は令和6年3月31日(日)までに必ず提出してください。

(5) 入学手続上の注意事項

- ① 入学手続は、所定の期日までに完了してください。期間内に手続を完了しなかった者は、入学を辞退したものととして取り扱います。
- ② 必要な書類の全てがそろっていないものは受付できませんので、書類等の提出の際には十分に確認してください。
- ③ 入学手続期間を過ぎて到着したものは受付できませんので、所要日数を十分に考慮して発送してください。
- ④ 受付をした入学手続書類は返還しません。
- ⑤ 令和6年4月1日(月)時点で入学資格を欠く場合は、入学を許可しません。

7 初年度納付金

(1) 入学料

入学手続の際には、次の額の入学料を納付する必要があります。

- ① 岡山県内の者 188,000円
- ② 上記以外の者 282,000円

- (注) 1 「岡山県内の者」は、次のいずれかに該当する者をいいます。
- (1) 令和5年4月1日から引き続き岡山県内に住所を有している者
 - (2) 令和5年4月1日から配偶者又は1親等の親族が引き続き岡山県内に住所を有している者
- 2 「岡山県内の者」は、居住地の市区町村長の証明を受けた「住民票記載事項証明書」により判断します。
なお、(注)1の(2)に該当する者及び令和5年4月2日以降に県内で移動した者は、追加で提出していただく書類がありますので、本学教学課入試班へ問い合わせてください。
- 3 入学料の改定があった場合は、改定後の入学料が適用されます。
 - 4 納付された入学料は、次の(1)から(3)までの場合を除き返還しません。返還する場合の返還額は納付された入学料相当額とします。入学料の返還は納付した者からの請求に基づき行いますので、該当者は令和6年3月19日(火)までに本学教学課入試班へ連絡し、必要な手続(入学料納付証明書が必要です。)をとってください。(2)の場合は本学教学課入試班から該当者に連絡します。
 - (1) 入学料を納付したが、入学手続をしなかった場合
 - (2) 入学料を納付したが、入学手続が完了しなかった場合
 - (3) 入学料の額を誤って納付した場合

(2) 授業料

- ① 金額 (年額) 535,800円
② 納付方法 入学後に前期、後期の2回に分けて納付していただきます。
③ 納付時期 前期 7月末 後期 11月末

(注) 授業料は、原則として口座振替により納付していただくこととなりますので、入学時に必要な手続きをお願いします。納付された授業料は返還しません。

なお、授業料の改定があった場合は、改定後の授業料が適用されます。

(3) 保険料、後援会費、同窓会費

① 金額

大講座区分	保険料※	後援会費	同窓会費
看護学大講座	4,150円 (3年分)	53,000円	<u>10,000円</u>
栄養学大講座 保健福祉学大講座	3,670円 (3年分)	入会金20,000円+ 会費(3年分)33,000円	

※学生教育研究災害傷害保険、学研災付帯賠償責任保険の保険料（（公財）日本国際教育支援協会が主催）

(注) 本学を卒業・本学大学院を修了した者（見込みを含む。）は、後援会費入会金及び同窓会費を納付する必要はありません（下線部分）。

- ② 納付方法 入学手続き時に、金融機関から納付してください。ただし、入学を辞退した場合は返還します。

(注) 保険料、後援会費、同窓会費の納付方法については別途お知らせします。

8 学位記に付記される分野の名称

岡山県立大学大学院保健福祉学研究科博士後期課程を修了した者は、博士の学位が授与されます。その際、学位記に付記される分野の名称は、次のとおりです。

看護学大講座 「看護学」 栄養学大講座 「栄養学」
保健福祉学大講座 「保健福祉学」

9 社会人の履修について

- (1) 社会人において、大学院の学習を容易とするために、昼間だけでなく夜間等（土曜日、日曜日、夏季・冬季休業など）においても研究指導を受けることができる場合があります。（大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第14条に定める教育方法の特例（昼夜開講制）を適用した場合）

夜間等での研究指導を受けることを希望する場合は、指導を希望する教員とあらかじめ相談してください。ただし、栄養学大講座においては、夜間等での研究指導を受けることができる場合でも、講義及び演習等については昼間の開講となりますので、勤務先ともよく相談の上、出願してください。

- (2) 大学院設置基準第15条に基づき、職業を有している等の事情による修学の困難さに対して標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程の履修を認める「長期履修学生制度」を設けています。

長期履修学生となるためには、長期履修の許可申請を行い、大学から許可を受ける必要があります。長期履修学生として許可を受けた場合は、長期履修期間の延長、長期履修の取消・中止、授業料の減免・徴収猶予の申請ができなくなりますので、事前に担当指導教員に相談し、所見を得た上で許可申請を行うこととなります。

10 安全保障輸出管理について

本学は、外国人留学生等への教育・研究内容が国際的な平和及び安全の維持を阻害することが

無いよう、「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理を行っています。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、ご注意ください。

1.1 奨学金及び授業料の減免等について

奨学金及び授業料の減免等については、入学後相談に応じます。入学後に岡山県立大学事務局教育学課学生支援班にお問い合わせください。

1.2 個人情報について

本学が入学者選抜等において取得する個人情報は、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）及び本学の規程に基づき取り扱うとともに、次の業務で利用します。

- ① 出願に当たって知り得た個人情報は、入学者選抜（出願処理、選抜実施）、合格者発表及び入学手続及びこれに付随する業務を行うために利用します。また、入学者選抜で用いた試験成績等の個人情報は、選抜方法の検討や大学教育の改善のための調査・研究に関する業務を行うために利用します。ただし、調査・研究結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。
- ② 本学の入学手続を完了した者の個人情報は、入学後における教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、授業料免除、奨学金申請、就職支援等）及び授業料等の徴収に関する業務を行うために利用します。
- ③ 本学合格者の個人情報は、本学の関係団体である同窓会及び後援会から本学合格者に連絡を行うために利用します。
- ④ 上記のうち一部の業務を本学から業者に委託することがあります。業務委託に当たり、当該業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。

Ⅲ 岡山県立大学大学院保健福祉学研究科(博士後期課程)案内

少子・高齢化が進展し、複雑化・多様化している地域社会において、真に豊かな高福祉社会を実現するためには、少子・高齢社会にふさわしいより質の高い保健福祉サービスの基盤を整備することが緊急の課題となっています。そのため、本学は「人間尊重と福祉の増進」を基本理念として保健福祉学部並びに大学院博士前期課程において、より専門的な教育研究を進めるとともに、保健福祉分野の推進役となる人材を養成してきました。

かかる実績を踏まえ、さらに保健福祉科学の一層の深化及び地域住民の健康の維持・増進の学術的拠点の構築を目指し、保健福祉に関する諸問題に解決を与え得る高度の見識を備えた教育者・研究者の育成を行うことが重要です。このため本専攻は、人間の健康課題について、看護学、栄養学、保健福祉学の各大講座の専門性をいかしつつ多面的な切り口で教育・研究を行います。

大講座編成と教育・研究内容

【看護学大講座】

看護専門職は多様かつ急速に変化する社会状況を認識し、人々の健康の維持・増進又は疾病予防や回復を目指す方法を見出していかなければなりません。そのためには健康と看護の概念の史変遷を踏まえ、看護実践を通して生じる諸現象やケアそのものを科学的に解明していく必要があります。本大講座では、慢性疾患患者やがん患者及びその家族が抱える諸問題や高齢者等のケアニーズに対応する看護システムやケア開発、看護の質向上に資する教育・研究を行います。

【栄養学大講座】

高齢社会を迎え、生活習慣病をはじめとする慢性疾患から人々を守り健康を維持・増進するためには、食と健康に関する諸問題を解決する必要があります。本大講座では、食事に伴う栄養現象を生命科学のアプローチにより解明し、病気の一次予防から三次予防に至る各過程にいかすことを目指した教育・研究を行っています。研究分野は、食品中に含まれる新規機能性成分の探索並びに食品の安全性の追求、慢性疾患における脂質代謝をはじめとする代謝調節系の役割の解明、そして生命現象としての栄養の中樞神経系における制御系の解明に及んでいます。

【保健福祉学大講座】

少子・高齢社会において、社会福祉学的視点と健康科学的視点からの保健福祉問題の解明は人間の健康と生活の質の向上に寄与するものです。本大講座では、児童、障害児・者、高齢者を主な対象として、その自立支援に関する教育・研究を行います。研究の分野は、(1) 児童の健全育成と発達保障及び育児・発達支援の理論的 pursuit と方法論の検討、(2) 身体、知的、精神障害の評価方法及び自立支援の理論的追及と方法論の探究、(3) 加齢に伴う身体的、認知的変容過程の探究及び高齢者の健康の保持増進を促す方法論の検討等です。

研究指導可能教員と主な研究課題（令和6年度予定）

大講座	担当教員	主な研究課題
看護学大講座	萩野哲也 教授	1 医療従事者が知っておきたい生命科学 2 看護実践における生体の変化・応答の解析 3 酸化ストレスによる細胞組織の機能修飾
	森本美智子 教授	1 輸入・新興感染症に対する感染防護具の臨床現場のガイドライン策定研究 2 院内感染に対する感染看護に関する研究（環境整備など） 3 看護ケアに関するシソの抗菌性およびリラックス効果の開発研究
	住吉和子 教授	1 糖尿病患者のケアに関する研究 2 患者教育に関する研究 3 解決志向アプローチを用いた面接技法に関する研究
	實金栄 教授	1 看護実践における倫理的課題に関する研究 2 高齢者のエンドオブライフケアに関する研究 3 高齢者の健康寿命の延伸に関する研究
	森永裕美子 教授	1 父親研究から児童虐待防止に向けたアセスメントガイドの開発 2 保健師の現任教育、人材育成に関する研究 3 災害時公衆衛生活動、被災者支援に関する研究 4 公衆衛生看護活動に関する研究（地域組織活動、介護負担感軽減等）
	喜多村真治 教授	1 医学・看護・保健・福祉・介護分野の人工知能（AI）研究 2 看護における内科的管理に関わる研究 3 慢性腎臓病・透析管理に関わる研究
	岡崎愉加 准教授	1 思春期保健に関する研究 2 子育て支援に関する研究 3 女性のライフサイクル各期の課題に関する研究 4 助産学教育に関する研究
	名越恵美 准教授	1 がん・心不全などの慢性疾患患者・家族に対する治療期・緩和期の意志決定支援に関する研究 2 看護師の職業的アイデンティティと組織開発に関する研究 3 高齢者・介護者等の急変時対応に関する研究
	井上幸子 准教授	1 精神障害者の地域生活を支えるための看護職の役割と多職種連携・資源活用に関する研究 2 精神障害や発達障害を有する方とその家族の支援に関する研究
	佐々木新介 准教授	1 看護援助・看護技術の科学的根拠に関する研究 2 生体情報を可視化する計測方法の開発 3 新しい看護援助用具の開発

大講座	担当教員	主な研究課題
栄養学大講座	高橋吉孝 教授	1 アラキドン酸の代謝酵素に関する病態生化学的研究 2 エイコサノイドの病態との関連に関する研究
	山本登志子 教授	1 慢性炎症予防を目指した食品機能性に関する研究 2 乳汁中脂質成分の新たな栄養学的意義の解明 3 恒常性維持と病態に關与する生理活性脂質合成系酵素の分子組織化学的研究
	川上貴代 教授	1 肝疾患と脂質栄養に関する研究 2 栄養・健康教育における栄養評価指標の開発に関する研究
	入江康至 教授	1 新規癌抑制因子 Amida の機能解析 2 伸展培養刺激モデルを利用した慢性腎疾患 CKD モデルの研究
	伊東秀之 教授	1 食品素材に含まれる機能性成分の単離及び化学構造研究 2 機能性食品成分の分析法の開発 3 機能性ポリフェノール成分の生体利用性に関する研究
	田中晃一 教授	1 新たな特性や機能性を有する微生物の探索・育種開発 2 地域微生物資源を活用した岡山ブランド商品の開発
	山下広美 教授	1 骨格筋の機能とエネルギー代謝に関する研究 2 食品中の機能性成分と骨格筋機能、エネルギー代謝、加齢に関する研究 3 加齢に伴う骨格筋の萎縮および生活習慣病の発症を予防する食品中の機能性成分に関する研究
	川上祐生 准教授	1 食品成分の作用機構と生活習慣病への応用に向けた研究 2 アラキドン酸カスケードに関する分子生物学的研究
池口主弥 准教授	1 機能性食品（保健機能食品、健康食品、ダイエタリーサプリメント等）の開発；動物からヒトへの用量外挿性研究、臨床研究 2 機能性素材探索・機能性食品開発におけるシステムティックレビュー・メタアナリシスのアプローチの研究；機能性食品に関する国内外の法制度研究 3 機能性食品に関する消費者心理・行動調査、市場・マーケティング調査、コンセプト開発	

大講座	担当教員	主な研究課題
保健福祉学大講座	近藤理恵教授	1 子どもの貧困、ひとり親家族、子ども虐待、DV、里親、養子縁組、いじめに関する日仏韓国比較に関する研究 2 教育行政と福祉行政の連携に関する研究
	岩満賢次教授	生活困窮者支援における地域づくり（主に若者、災害など）
	村社卓教授	1 高齢者の孤独予防に関わるソーシャルワークの研究 2 知的障害者の就労支援に関する研究
	竹本与志人教授	1 スーパービジョンを活用した高ストレス環境下における人材育成・管理モデルの研究 2 認知症のある人と家族介護者の経済状況と社会保障制度の活用に関する研究
	中村光教授	1 言語・認知の発達と老化に関する研究 2 神経学的コミュニケーション障害（失語症、高次脳機能障害、認知症）の評価と介入に関する研究
	坂野純子教授	1 精神障害者のLife Skillに関する研究 2 精神保健福祉領域におけるsense of coherence概念の有用性に関する研究
	高戸仁郎教授	1 視覚障害者の単独移動支援に関する研究 2 高齢者の介護予防に関する研究
	楽木章子准教授	1 心理臨床学的諸問題に関するグループ・ダイナミクス研究 2 過疎地域における住民自治に関するアクション・リサーチ

<参考>

履修案内・シラバス・教員・研究者データベースは本学ウェブサイトにて閲覧可能です。

○履修案内

<https://www.oka-pu.ac.jp/guide/page-15433/page-353/page-910/>

【閲覧方法】

大学ウェブサイト「岡山県立大学」>大学案内>教育情報の公表>授業科目、授業内容、授業計画に関すること>履修案内

○シラバス

<https://www.oka-pu.ac.jp/syllabus/index.html>

【閲覧方法】

大学ウェブサイト「岡山県立大学」>大学案内>シラバス

○教員・研究者データベース

<https://gdata.oka-pu.ac.jp/search/index.html?lang=ja&template=template>

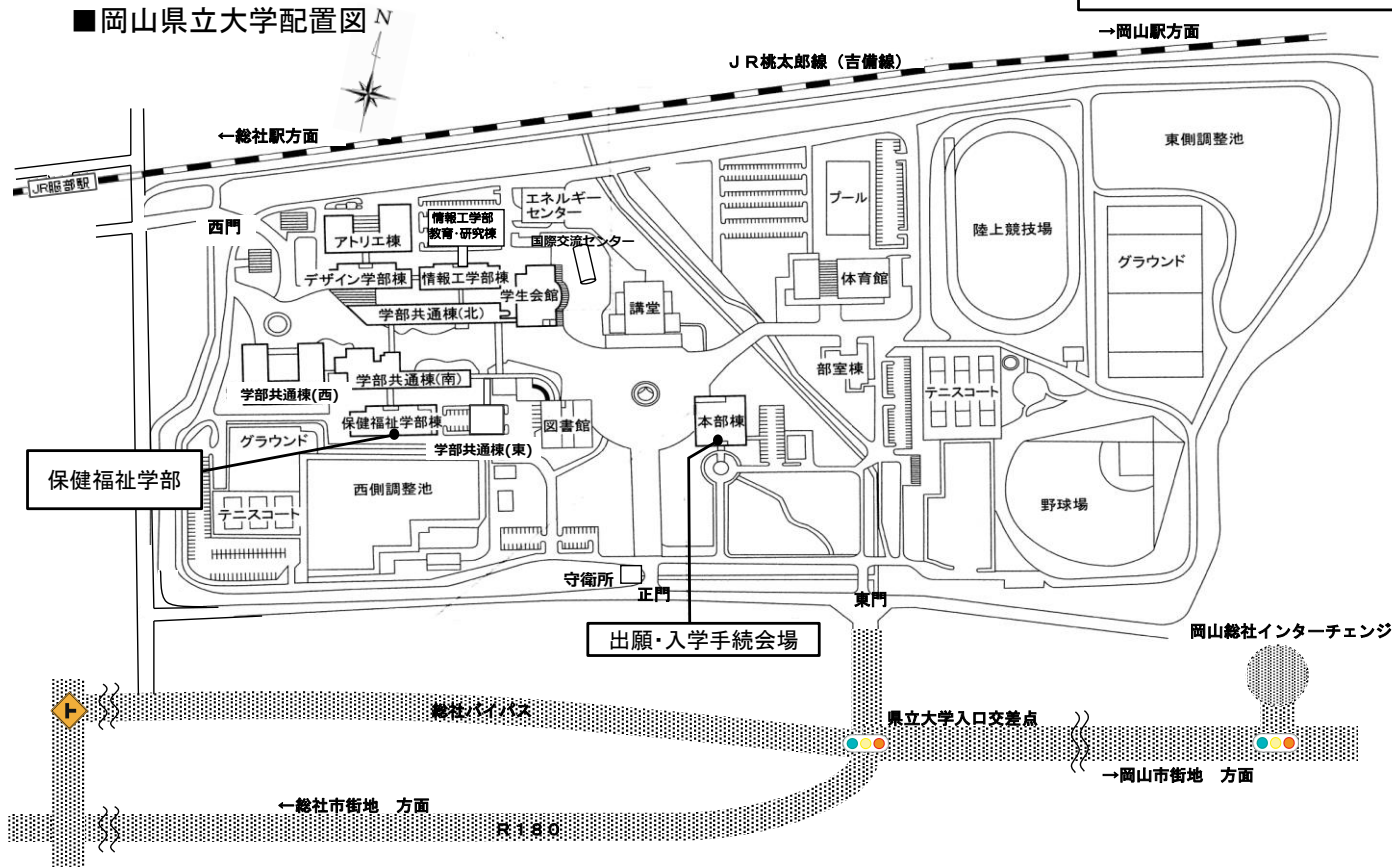
【閲覧方法】

大学ウェブサイト「岡山県立大学」>大学案内>教員・研究者データベース

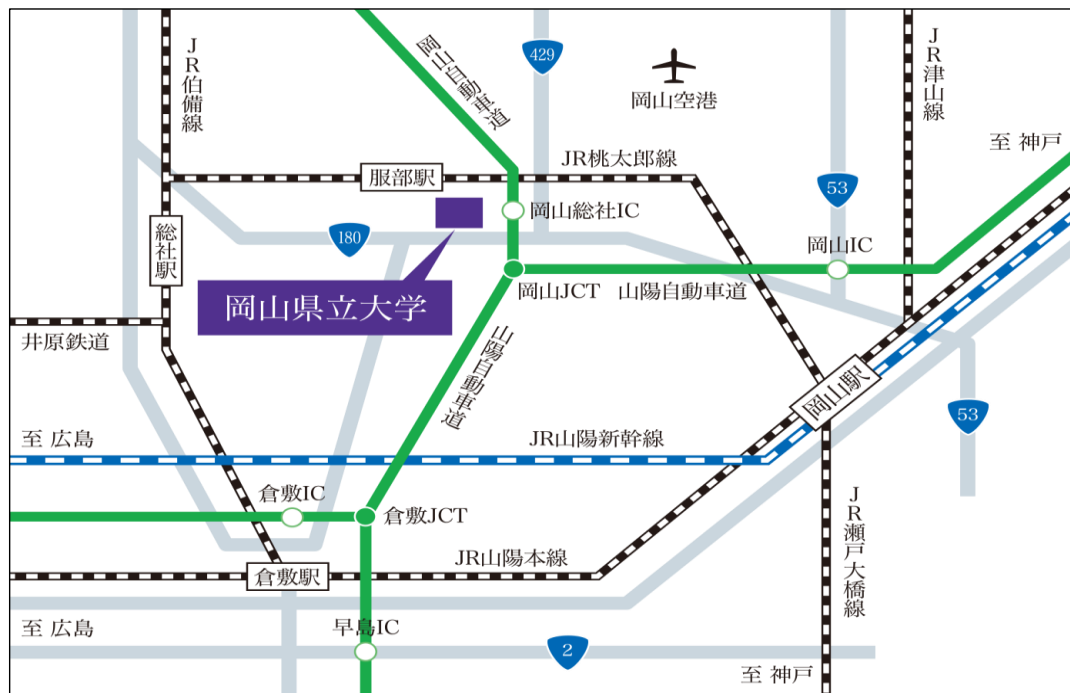
IV 試験会場の配置図及び案内図

■岡山県立大学配置図

※大学の敷地内は、全面禁煙です。



■試験会場案内図



《交通案内》

- JR桃太郎線 (吉備線)・服部駅 (JR岡山駅から約30分、JR総社駅から約8分) 下車、徒歩5分
- 岡山自動車道、岡山総社ICから約2.5km
- 岡山市街から約1.8km (国道180号経由)、倉敷市街から約1.2km (国道429号経由)

出願・受験・その他に関するお問い合わせ先

岡山県立大学事務局教学課入試班

〒719-1197 岡山県総社市窪木 1 1 1 番地

TEL 0866-94-9163 (直通)

0866-94-2111 (代表)

ウェブサイト <https://www.oka-pu.ac.jp>

電子メール nyushi@oka-pu.ac.jp